



よしみ
みわ由美
日本共産党千葉県議



避難所で要望を伺いました(松戸市内の体育館)



土砂崩れ現場で状況を聞く、みわ県議(千葉市内)

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます

台風・豪雨…強風、停電、断水、竜巻、浸水、土砂崩れ 日々の生活と生業を一日も早く取り戻せるよう 復旧・復興に全力をあげます

猛烈な強風、停電、断水、浸水、崖くずれなど台風15号・19号、豪雨による連続的な災害の被害は甚大です。日本共産党は、直ちに現場に足を運び、救援、復旧・復興に力を注いでいます。

被災地の実態や声をとどけ、 国と県の支援を拡充させています

ブルーシートの確保、避難所での温かい食事、プライバシー保護。大量のガレキ、家具、畳等災害ゴミの処理や、倒木、土砂の撤去。屋根が吹き飛ばされ、雨漏りが続く住宅の改修。農業・酪農の早期再開などを求めて、その都度、県や国に改善を求めています。日本共産党は、地域の党员、市町村議員、県議、国会議員の連携プレーで明日への希望を繋ぐために力を尽くします。



廃棄する畳の運搬



ハウスの破損ガラス清掃
(寺尾さとし氏提供)

これまでも 河川洪水、崖くずれ対策 を求めてきました

土砂崩落で住民が犠牲となった千葉県。「土砂災害警戒区域」の指定率は36%で、全国平均88%を大きく下回っています。加藤英雄県議は、2014年9月県議会で、基礎調査と区域指定を促進するよう求めています。

昨年12月には、市町村から「水位計のない区間があり、住民への情報提供が難しい」との声が出ていることを指摘し、県管理河川の3割程度しかついていない水位計の増設を要求しました。

県は「(警戒区域指定の)遅れは知っていた」「(水位計)足りている」などしていますが、その責任は厳しく問われます。

台風災被者への千葉県の支援(概要)

- ◆一部損壊住宅 全市町村で最大50万円の補助
国の応急修理費(上限30万円)と併せて、修理費150万円超の場合、工事費の20%(上限20万円)を上乗せ。各市町村での実施が前提。全壊(最大300万円)、大規模半壊(最大150万円)の住宅は、国の被災者生活再建支援制度が受けられます。
- ◆農業ハウスなど 農家の負担10分の1以下に
国の支援(ハウス、トラクター、畜舎等)に加えて、県はハウス等について、農家負担が10分の1以下になるように補助。対象は事業費20万円以上。共済未加入農家は、今後の加入が条件。
- ◆牛・豚・鶏の新たな買入 実質半額へ
停電・断水などで家畜が死亡し、農家が新たに購入する場合、共済分を除く半額程度を補助。
- ◆中小企業事業再開 上限500万円
施設の修繕・廃棄、機械、備品などの費用を補助(保険給付分を除く)

上記の支援は、「り災証明書」あるいは「被災証明書」が必要です。窓口や申請手続きなど詳細は千葉県にご確認下さい。
【県庁】043-223-2110(代表)

救援募金へのご協力をお願いします

- 郵便振替口座 00230-9-55264
- 加入者氏名 日本共産党千葉県委員会
*通信欄に「災害救援募金」と記して下さい。手数料はご負担願います。
お預かりした募金は、その全額を被災者救援にあてさせていただきます。



畑野君枝衆院議員らと市原市の突風(竜巻)現場を調査



強風で屋根が吹き飛んだ家屋を調査(館山市内)



ミール計恵
(市議会議員)



平田きよみ
(市議会議員)



山口正子
(市議会議員)



うつの史行
(市議会議員)

みわ由美県議といっしょに住みよい松戸市をめざします

日本共産党

JCP CHIBA